

PRP 治療（筋・腱・靱帯）

たけっしょうばんけっしょう ちりょう
PRP（多血小板血漿）治療について



い りょう ほう じん ほ た くぼ かい
医療法人保田窪会

ほ た くぼ せい けい げ か びょう いん
保田窪整形外科病院

■はじめに

PRP（^{たけつしょうばんけつしょう}多血小板血漿）治療について説明します。

^{うんどう}運動やスポーツをして^{けん}腱や^{じんたい}靱帯、^{きんにく}筋肉を傷つけてしまったときに^{はやく}早く治るように^{かんが}考えられた治療法です。

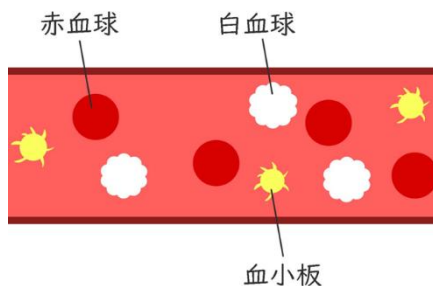
これからの内容をよく読み、説明を聞き、治療を受けるかどうかあなたが決めて下さい。

この治療を受けるか受けないかはあなたの自由です。

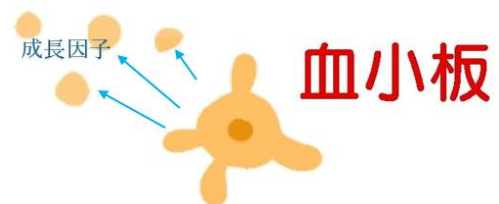
治療をすると一度決めても、いつでも止めることができますし、^{ちが}違う治療を^{きぼう}希望することもできます。^{しんぱい}心配なことがあればいつでも^{たんとういし}担当医師やスタッフに^{そうだん}相談して下さい。

1. ^{ちりょう}治療の^{ないよう}内容

【PRP（^{たけつしょうばんけつしょう}多血小板血漿）とは】



PRP とは血液の中にある血小板を集めて濃縮したものです。PRP は人がもともと持っている^{なおよすちから}治す力を最大限に引き出す治療です。



【PRP の作り方】

PRP 治療（筋・腱・靱帯）

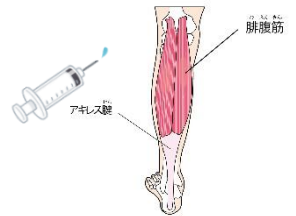
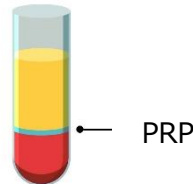
PRP はあなたの血液^{けつえき}を採取^{さいしゆ}し、それを遠心分離機^{えんしんぶんりき}という装置^{そうち}で分離し、
血小板^{けっしょうばん}を濃縮^{のうしゆく}します。



【治療の流れ】

治療^{ちりよう}は日帰り^{ひがえ}で終わり^おます。

- ① 診察^{しんさつ}をします。 ② 採血^{さいけつ}します。 ③ PRP を作り^{つく}ます。 ④ 患部^{かんぶ}に注^{ちゆう}入^{にゆう}します。



PRP の注^{ちゆう}入^{にゆう}後はリハビリや通院^{つういん}が必^{ひつ}要^{よう}です。

2. 治療^{ちりよう}のメリットとデメリット

【メリット】

- ・ 腱^{けん}や靱帯^{じんたい}、筋肉^{きんにく}の修復^{しゅうふく}が早^{はや}く進^{すす}み、痛^{いた}みが軽減^{けいげん}します。
- ・ 入院^{にゅういん}や手術^{しゆじゆつ}は必要^{ひつよう}ありません。
- ・ 組織^{そしき}の修復^{しゅうふく}によって、早期^{そうき}のスポーツ復帰^{ふつき}や活動^{かつどう}ができることが期待^{きたい}できます。
- ・ あなたの血液^{けつえき}を使うため、アレルギー^{つか}などが起^おこりにくいです。

【デメリット】

- ・ この治療^{ちりよう}は個人差^{こじんさ}があります。
- ・ PRP には体^{からだ}の防御^{ぼうえき}反応^{はんのう}を高める成分^{たか}も含ま^{せいぶん}れているため、PRP 注^{ちゆう}入^{にゆう}後は一時的^{いちじてき}に炎症^{えんしやう}反応^{はんのう}

PRP 治療（筋・腱・靱帯）

が出て痛みが強くなることがあります。

- ・注射が苦手な人は気分が悪くなることがあります。
- ・ごく稀に注射の部位に感染を起こすことがあります。

3. 3. ^{ほか}他の^{ちりょう}治療との^{ひかく}比較

	PRP	非ステロイド	ステロイド
効果持続期間	6 か 月程度以上。 比較的長期。	持続期間は短いです。	即効性はあるが持続期間は短いです。
治療後のリスク	注射部位が腫れることがあります。	長期的な使用は副作用があります。	長期的な使用は副作用があります。
品質の安定性	血液は人それぞれ違うため品質がばらつく 可能性があります。	安定しています。	安定しています。
アレルギー反応	あなたの血液のため、 可能性は低いです。	可能性があります。	可能性があります。

4. 治療費

この治療は健康保険診療ではなく自由診療のため、他の治療費が高額になることがあります。

PRP キットによる治療 1 回

PRP：（京セラ Condensia システム）使用（複数回投与推奨）： 22,000 円（税込）

PRP 治療（筋・腱・靱帯）

治療を数回行うことがあります。一回あたりの治療費が割引されることがあります。

5. 個人情報保護について

あなたの個人情報は法律に基づいて厳しく保護・管理されます。

PRP治療をはじめとする細胞を使った再生医療は法律で定められており、治療の実施状況等を厚生労働省に報告する義務があります。

そのような場合でも、お名前や住所などの個人情報が外部に出ることは原則的にありません。

医学に関する学会等で研究のために氏名等を伏せて症例が使用される場合がありますが、

その場合は院内掲示またはHPで公表し、あなたの申し出があった場合にはこれを使用しません。

6. PRP治療の相談窓口

相談窓口連絡先：医療法人保田窪会 保田窪整形外科病院

住所：熊本市東区保田窪5丁目7-27

TEL：096-381-8711

担当：担当医師

診療時間： 09:00～13:00(受付 08:30～12:30) 14:00～18:00(受付 13:30～17:30)

土曜日： 09:00～13:00(受付 08:30～12:30)

休診日： 日曜日、祝祭日

※万一、診療時間外に重篤な症状が出た場合は救急車要請等をご考慮ください。